定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和7年4月17日（木） 午後0時50分～午後4時50分

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、首席監察官、
情報通信部長、警備部統括参事官兼公安課長、公安委員会補佐官

3 陪席

総務課長

第4 委員説示

委員から、「先週、県警察本部において、今春退任された警察署協議会委員への感謝状贈呈式、さらには、この度警察署協議会委員になられた方への委嘱状交付式が開催された。その後の懇談会の時に退任された委員から、「昔の警察は怖いイメージだったが、今の警察はイメージが変わった」等と話をされていたことが印象的だった。警察署協議会というのは、平成11年から12年頃にかけて全国的に様々な警察不祥事が発生したことを契機に警察改革の一環として発足した制度だと承知している。現在、県内の各警察署において四半期ごとに警察署協議会を開催し、住民を代表する委員の方々に対して、各種警察活動について説明をしたり、警察に対する意見・要望を伺い、改善すべき点は改善するなどの活動を行っていると思うが、このように平素から住民の目線を意識しながら警察活動を行うことにより、県警察の改善に繋がっているのではないかと感じた。また、本日は元地域交通安全活動推進委員への感謝状贈呈式が予定されている。地域交通安全活動推進委員制度は平成3年にスタートした制度である。当時は、県内の交通事故死者数が年間100人を超えていたが、今では約30人にまで大きく減少している。その要因は、県警察による交通指導取締りや各種施策の推進、道路環境の改善等も挙げられるが、やはり、

地域の方々による地道な交通安全活動のお陰だと感じている。警察署協議会や地域交通安全活動推進委員の活動については、なかなか目に見える成果は表れにくいと思うが、引き続き、所期の目的に沿った活動を続けていただきたい」旨の発言があった。

第5 報告事項

1 令和6年度における留置業務に関する実地監査結果について

県警察から、香川県警察における留置業務に関する訓令第14条第3項の規定に基づき、令和6年度における実地監査結果について報告があった。

委員から、「実地監査の結果、指摘事項が認められなかったということは、日頃の業務管理がしっかり出来ている結果の表れだと思う。今後も、業務で気付いた事があれば、その都度、改善していただきたい」、「表彰基準を満たしていない職員に対しても、仕事ぶりを評価している点が素晴らしいと感じた。これは、普段から上司が部下の仕事をしっかり見ていないと出来ないことである」、「留置施設視察委員による部外の監査も大事であるが、やはり、留置業務をよく理解している部内の監査も非常に重要だと思う。留置業務に関しては、基本を徹底して行えば大きな事故には繋がらないと思うので、引き続き、その点に留意して愚直に業務に取り組んでいただきたい」旨の発言があった。

2 令和6年度に実施された監査委員による定期監査の結果及び香川県警察が実施した会計監査の実施結果について

県警察から、令和6年度に実施された監査委員による定期監査の結果及び香川県警察が実施した会計監査の結果について報告があった。

委員から、「監査委員による定期監査の結果、指摘事項がゼロということは本当に素晴らしい結果である」旨の発言があった。

3 令和7年第1四半期における贈与等の報告について

県警察から、香川県職員倫理条例に基づく令和7年第1四半期（1～3月）の贈与等報告書の提出があった旨の報告があった。

委員から、「厳寒期に警戒等に従事する警察職員への慰問をしていただき、地域の方の心意気を感じた。非常に有り難いことである」、「贈与等報告書を拝見し、厳格に手続きを執っていることが分かった」旨の発言があった。

4 令和7年3月中の苦情申出の受理・処理状況及び感謝事例について

県警察から、令和7年3月中の苦情申出の受理・処理状況等について報告があった。

委員から、「市民からいただく応援メッセージを拝見して常々思うが、警察官は、一つ一つの案件に対して、非常に親切丁寧な対応を行っていることが分かる。今後も、このような姿勢を持ち続けることが大事だと思う」、「警察苦情の処理結果報告の中には、県警察に非がある事案もあったようだが、苦情を受理した当初から、丁寧に誠意ある対応を行ったことで、申出者から理解をいただけたのだと思った」、「苦情申出を受理して調査を行った結果、県警察に非がないケースがほとんどかもしれないが、中には、県警察として反省しなければならない事案もあると思うので、引き続き、苦情申出を受けた際には、先入観を排除してしっかりと対応をお願いしたい」旨の発言があった。

5 令和7年度香川県機動警察通信隊の指名式及び機器取扱訓練の実施について

県警察から、令和7年度香川県機動警察通信隊の指名式及び機器取扱訓練の実施状況について報告があった。

委員から、「訓練は実戦のように、実戦は訓練のように」という言葉があるように、訓練を行う際には実戦のように真剣に取り組んでいただきたい。また、訓練は定期的に行うことでいざという時に活かされると思うので、1回1回の訓練を大事にしていきたい」、「緊急時に機器の使い方が分からないのでは役に立たないので、しっかりと訓練を積み重ねて万全を期していただきたい」旨の発言があり、県警察から、「災害や事故が発生した際に、現場からの映像伝送など機動警察通信隊の果たす役割は非常に大きいものがあるので、引き続き、実戦的な訓練による練度の向上に取り組んでいく」旨の説明があった。

6 令和7年度の主な警察情報通信施設整備計画について

県警察から、令和7年度における主な警察情報通信施設の整備計画について報告があった。

委員から、「システムの更新については、細心の注意を払っていても、予想外のトラブルが発生することがある。その点を十分留意して対応に当たっていただきたい」旨の発言があった。

第6 その他

1 不審物事案への対応について

県警察から、「先週13日、高松市内の公園において不審なスーツケー

スが置かれているとの通報があった。当日は、大阪・関西万博の開幕日であったことからテロ等のおそれも考えられたが、結果として大事には至らなかった。数日前には京都駅においても不審物事案が発生しているが、明日から瀬戸内国際芸術祭も始まることから、今後、仮に今回の様ないわば「空騒ぎ」事案が続くようなことがあったとしても、県警察としては、常に緊張感を保持し、その都度万全の対応を執っていくこととしている」旨の報告があった。

2 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等の実施状況について

県警察から、令和7年3月中のストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等の実施状況について報告があった。

3 運転免許の取消し等の審議について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。